

和寒町と剣淵町が合同で河川洪水対策を要望

12月7日(金)奥山和寒町長と早坂剣淵町長が、上川総合振興局旭川建設管理部士別出張所に出向き、照井所長に河川2区間の洪水対策要望書を提出しました。



要望箇所は①剣淵川の寒川橋(和寒)～剣静橋(剣淵)間約7.5km②和寒と剣淵の境にあるペンケペオツペ川の小藤橋～剣淵川合流点までの約1.5kmについてで、いずれも洪水時の安全な河川水位の確保と、内水氾濫対策としての支障木除去、土砂撤去を要望しました。要望書を受け取った照井所長は「地域の安全安心のために早期整備を目指したい。少しずつでも要望に応じていきたい。」と述べられていました。

父が残してくれた山林で山の奥深さを知る

石上恵三さん(字南町)が、森と人を育てるコンクールのカラマツ部門で優秀賞を受賞し、12月12日(水)役場において賞状の伝達式が行われました。このコンクールは適切な森林整備を実践し、模範となる優良林を育てている森林所有者を表彰するもの。

今回、日ノ出地区にある石上さん所有の林齢31年カラマツ林が評価されての受賞となり「父の手入れのおかげ。父が残してくれた山を頑張って育てていきたい。」と語られていました。



久米室長 石上さん 青塚森林組合長 奥山町長

災害時の燃料供給協定を結ぶ



「災害時における石油類燃料の供給等に関する協定」の締結式が1月10日(木)町民センターで行われ、信菱興業(株)、(有)豊和産業と協定を結びました。この協定では、災害発生時に町が必要とする燃料を優先的かつ安定的に供給するほか、スタンドを被災者への休憩所やトイレとして提供いただくこと等が目的となっています。信菱興業(株)岡代表取締役は「災害はいつ起こるかわからない。町民の生活を守る努力をしていきたい。」と述べ、(有)豊和産業丹野代表取締役も「有事の際には最大限努力していきたい。」とあいさつしていました。